

ミュージカル

ジュリア おたあ

Julia Ota

時代をこえ、国をこえ、おたあはこの地に愛を届ける

原画／智内兄助

脚本・演出／鈴木ひがし
脚本・作詞／高橋亜子
作曲・音楽監督／甲斐正人

蕨市民会館

コンクレホール

蕨市立文化ホールくるる等文化芸術振興事業

2016年2月11日(祝)

開場14:30

開演15:00

◆入場料 一般 3000円 高校生以下 2000円(全席自由)

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

◆主催／蕨市民会館

◆共催／蕨市・蕨市教育委員会

◆後援／蕨市文化協会・わらび学びあいカレッジ ◆協力／蕨市♡わらび座マリアージュの会

◆問い合わせ／蕨市民会館 〒335-0004 埼玉県蕨市中央4-21-29 ☎048-445-7660

URL <http://warabi-fmpc.or.jp/wch/>

◆チケット取扱所◆

蕨市民会館 048-445-7660

萬寿屋(北町) 048-431-2438

車貴仙(中央) 048-431-5631

文化ホールくるる 048-446-8311

魚亀(錦町) 048-443-6830

関口商店(塚越) 048-442-0867

根岸クリーニング(南町) 048-442-4910

美味い!

旨い!

上手い!



うまいクーポン
あります



蕨市田楽茶飲食組合
PCサイト <http://warabi-t.net>

当日から15日間 チケット・半券で
指定店舗にて10%OFF!



「時を遙か越えて 花を咲かせ続ける 彼方に愛を運ぶ 私は種」

歴史の荒波を生きた彼女が願ったものとは—

時代は秀吉から家康へと変わるとき、人々の暮らしは抗えない奔流に押し流されるような苦難の連続だった。誰もが懸命に生きようとするとき、心の支えになるものは何なのか、主人公おたあは探し続けます。

苦しいときに喜びを見つけ、悲しいときに勇気を見つける…

おたあは秀吉の朝鮮出兵のとき、戦国大名小西行長に朝鮮から熊本・宇土へ連れて来られました。そのとき一緒に持ってきた花の種は、日本の地でもしっかりと根付いて花を咲かせます。おたあはそこにあるべき自分の姿を見つけます。

彼女が育てた花の視点から描くものがたりは、人間たちが実にユーモアにあふれ個性的です。劇場でおたあの成長を見つけてください、きっと発見があるはずです。

脚本・演出 鈴木ひがし

ジュリアおたあとは

1592年、豊臣秀吉による朝鮮出兵(文祿の役)の際、小西行長に助けられ日本で養育された朝鮮の美しい少女。

1600年、関ヶ原の戦いで小西行長が刑死した後、その美貌と才気を認められて徳川家康の侍女となり、更に家康の側室になるよう要求されるも拒否し、キリスト教信仰を守り通した。文祿・慶長の役からはじまる激動の時代を凜と生き抜いた女性です。

《キャスト》



おたあ/椿 千代



捨吉/平野 進一



小西行長/岡村 雄三

ジュスタ/ 飯野 裕子
徳川家康/ 渡辺 哲
おもん・お勝/ 鈴木 潤子
お万/ 高橋 磨美
おかネ/ 白井 晴菜
太助/ 笹岡 文雄(座友)
医師・伊助/ 安倍幸太郎(劇団M.M.C)
嘉一/ 黒木 友宜
六郎/ 千葉 真琴

おたあの足跡

①朝鮮半島

おたあの生まれ故郷。豊臣秀吉の朝鮮出兵で孤児となり、小西行長に助けられて日本へ渡ることになる。

②九州・熊本県宇土市

キリシタン大名小西行長の城下。おたあは行長とその妻ジュスタ婦人の養女として育てられる。

③徳川家康の城 駿府(現在の静岡)

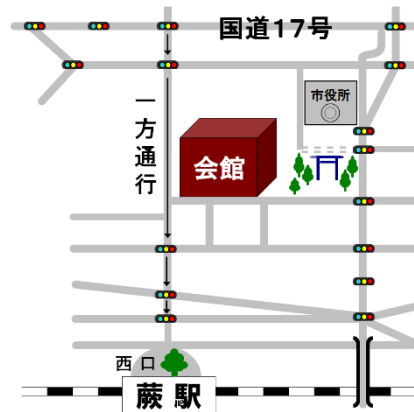
関ヶ原の戦いで小西行長が徳川家康に敗れ、おたあは大奥へ。家康の侍女となる。

④伊豆大島 神津島

1612年幕府が江戸・京都・駿府をはじめとする直轄地に禁教令を布告。棄教を拒んだおたあは、この島に流される。

【スタッフ】

原案/ 鈴木 哲也
脚本・演出/ 鈴木ひがし
脚本・作詞/ 高橋 亜子
作曲・音楽監督/ 甲斐 正人
振付/ 坂元 宏旬
韓国舞踊振付/ 辛 錦 玉
声楽指導/ 山口 正義
美術/ 横田あつみ
照明/ 八木 優和
音響/ 小寺 仁
衣裳/ 樋口 藍
小道具/ 平野 忍
ヘアメイク/ 我妻 淳子
演出助手/ 栗城 宏
音楽助手/ 紫竹ゆうこ
振付助手/ 安達 真理
舞台監督/ 仁 しづか
原画/ 智内 兄助
企画制作/ わらび座
共同企画/ 宇土市(熊本県)



《交通機関》

JR京浜東北線蕨駅西口下車 徒歩約10分

わらび座とは

わらび座は民族伝統をベースに、多彩な表現で現代の心を描き、日本のオリジナルミュージカルを上演する劇団です。1951年2月創立。現在6つの公演グループで年間約1200回公演。その他、民族舞踊・太鼓・演劇など、様々なワークショップも行っています。また、劇団の本拠地・秋田県仙北市に、複合文化エリア「たざわこ芸術村」を展開。ホテルや温泉ゆば、田沢湖ビールレストラン、森林工芸館の他、中核となる「わらび劇場」では1995年より常設公演を開始。大劇場・小劇場あわせて年間約300回、わらび座作品だけでなく海外招聘作品を国際交流事業として上演するなど、多彩なプログラムを開催しています。

わらび座公演営業部 ● 〒014-1192 秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田430 TEL.0187-44-3316 FAX.0187-44-3318

<http://www.warabi.jp/> E-mail: info@warabi.or.jp



わらび座

検索

【わらび座オンラインチケット】インターネットでもご予約いただけます。

<http://www.e-get.jp/warabi/pt/> (パソコン用) <http://www.e-get.jp/warabi/dt/> (携帯)

※公演によってお取扱いの無い場合がございます。

